

認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の方に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行っている。

地域事業として、2021年度より班員が認知症カフェの運営に携わり開催している。また、介護予防事業の一環として県より認知症をテーマに講話の依頼があり地域住民の方への啓発活動を行っている。今後も、地域活動での人材育成や介護予防、認知症支援事業に作業療法士が参画できるよう活動していく。

認知症カフェの運営

2021年度より認知症カフェ「カフェけらけら」の企画・運営を行い、今年度で6年目となる。昨年度に続き喫茶店をお借りし、2ヶ月に1度開催した。昨年度同様、担当者がテーマを決め、講話や体操などを中心に展開している。時には、参加者から挙げた話を元に意見交換や助言を行う。

喫茶店という温かい雰囲気を活かし、参加しやすいカフェを目指したが、参加者数の確保や他職種との連携など、周知方法を含めた課題を残している。



他団体が実施する認知症カフェへの参加

2025年11月、当士会の広報編集部と共に他団体が開催するカフェへ参加。認知症カフェの重要性を士会員に伝えること、カフェにおける作業療法士の役割を模索することを目的に、講話や地域住民の方々との交流に参加させていただいた。2026年度も同様の計画を実施する予定となっている。



その他

（高知県オンライン介護講座への講師派遣）

2025年9月、「認知症を知ろう～認知症の理解や対応など～」をテーマに、県内のあったかふれあいセンター等15ヶ所とオンラインで繋ぎ講義を実施する。約70～80名が参加。

（研修会：未実施）

認知症ご本人・その家族の声を聞くと題し、士会員の認知症理解を深める目的で研修会を計画するが、調整叶わず未実施。

2026年度も計画を継続し実施を目指す。